
無題。

朔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無題。

【Nコード】

N6150U

【作者名】

朔

【あらすじ】

一人の人間の話の一部分。

突っ込んだところはご想像にお任せします。

(前書き)

初投稿です。

はじめまして、朔と申します。

といつても最初で最後のあいさつになるかもしれませんが(苦笑)

この小説、忠告をしておくと凄く短いです。

会話文ありません。

故に、どんな状況が分かり辛いかもしれませんが…。

それでも良ければ、どうぞ。

視界を遮る建物が無くなったせいか、空を近く感じた。

今、自分がここにいる事が運命だとしたら。

生まれた時から、存在した時から、既に決まっていた事だったなら。

私は…私は、何のために今まで生きてきたというのだろう。

分からない。

何故私は泣いているんだろう。

何が悲しいんだろう。

人のいないこの場所で、涙を拭う事もせずに思い切り泣いた。

他人の目を気にせず泣ける事は幸せだと思った。

どれほどの時間が経ったのか。

澄みきった青空は気付けば茜色に変わっていた。

落ち着いた所でゆっくりと歩き出し、どこか威圧的な高いフェンスに手をかけた。

(後書き)

雑談。

えー、これを書いたのは確か去年ですね。
いろいろと病んでまして(苦笑)
でも自分の中ではまだマシに書けた文かな、と思っています。

感想などいただければ幸いです。

読んでくださってありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6150u/>

無題。

2011年10月9日10時56分発行